

「赤レンガ」

【令和元年度・3号(新年号)】

発行:倉敷市立市民病院広報委員会・地域医療連携室

発行月:令和2年1月



～倉敷市立市民病院 基本理念と基本方針～

<基本理念>

- ・市民に信頼される地域の中核病院を目指す。
- ・人間味あふれる温かな医療を実践する病院を目指す。

<基本方針>

- ・市民が利用しやすくかつ患者中心の良質な医療を公平に提供するように努める。
- ・地域の中核病院として市民のニーズに応え、初期・二次救急医療、小児の夜間救急の充実に努める。
- ・採算性を求めることが困難である救急医療、周産期医療、小児医療を提供し、公立病院として地域医療の確保に努める。
- ・市民の健康保持と福祉の増進を図るため、予防医療の充実に努める。
- ・地域医療の向上のための病診連携を図り、病床の一部を開放病床とする。
- ・病院の健全経営に努め市民の信頼に応える。
- ・疾病構造の変化に対応し得る医療体制の整備に努める。

<目次>

- ・院長、看護部長あいさつ
- ・医療トピックス1
- ・医療トピックス2/新任医師紹介
- ・栄養だより
- ・特別養護老人ホーム 碧山荘

2020年 年頭ご挨拶

—再編・淘汰の嵐の中で生き残れる病院であるために—

謹んで新春のお慶びを申し上げます。令和の新時代の幕が開き、今年はオリンピックイヤーで大いに心躍る一方で、待ち受ける激動の医療情勢、体制の大変革時代が迫っており、厚生労働省が再編・統合の必要な公立・公的病院の424病院を実名で公表しました。当院は、皆様の多大なご支援により、昨年9月に駐車場・外構整備も完了し、災害に強い病院として免震構造を採用、浸水対策も施し、「いざという時に役立つ病院」であるよう設計しています。オリンピック開催前に新病院をフルオープンできたのは幸運でした。しかし中身はまだまだの道半ばの病院で、職員が自覚をもって一丸となり行動し、皆様に評価していただける成果を積み上げて「市民病院ブランド」を生み出していかないと、生き残れないと認識しています。市民病院を支え守り抜くことが責務、恩返しであると心に誓い、粉骨砕身努力する所存ですので、今年も引き続きご指導、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

院長 江田 良輔

新年あけましておめでとうございます。

日頃より市民の皆様には、暖かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年度、看護科は、接遇の向上を第一目標とし、患者さん・ご家族の心に寄り添う看護の実践を目指して参りました。少しずつではありますが、嬉しいご意見をいただくことができるようになって参りましたが、まだまだ十分ではございません。厳しいご意見をいただく度に、看護科で振り返りながら、改善に取り組んでいるところでございます。今年度も、引き続き接遇の向上を目指し、「安心・安全そして人間味あふれる看護の実践」に取り組んでいく所存です。

今後とも引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

看護部長 三宅 千恵子

医療トピックス

～「胆のう」の病気～



外科 医長 木下 茂喜

胆のうは肝臓で作られた胆汁を一時的にためる袋です。食事をとると胆のうは縮まり、胆汁が十二指腸に排出されます。胆のうの病気には胆石症、急性胆のう炎、胆のう線筋腫症、胆のうポリープ、胆のう癌などがあります。

胆石症で痛みがある場合は手術がよいでしょう。胆石があると、急性胆のう炎の原因となることがあります。急性胆のう炎では緊急手術が必要になります。頻度は少ないですが、胆石のない方でも急性胆のう炎を起こすことはあります。いずれにしても急性胆のう炎では、早急に手術を行います。胆石が総胆管に落ちると、総胆管結石と呼びます。無症状の方も多いですが、腹痛・発熱・黄疸などの症状がでると敗血症となってしまう、数時間で死に至ることもあります。検査で総胆管結石が見つかった場合は、症状の有無にかかわらず内視鏡での総胆管結石治療をお勧めしています。

胆のうの壁が厚くなる病気として胆のうポリープ、胆のう線筋腫症、胆のう癌などがあります。腹部エコー、CT、MRIなどを行い診断していきます。病変が1cm以上の大きさがあれば、胆のうを摘出して病理検査をすることをお勧めしています。手術をしなければ、半年あるいは1年に1回の定期検査を継続する必要があります。

胆のうの病気では、早めの手術をお勧めしています。医療機器の進歩により、腹腔鏡下胆のう摘出術の安全性はかなり向上しました。胆のうの手術の多くは腹腔鏡下に行われています。炎症のひどい胆のう炎や、大きなしこりとなった胆のう癌では、開腹手術が必要です。腹腔鏡下胆のう摘出術は痛みが少なく、術後の回復が早いです。ひどくなる前に手術をすれば、腹腔鏡下手術で済む可能性が高いです。腹痛をきたす方は、腹部エコー検査で胆のうを調べてもらいましょう。エコー検査は気楽に受けられ、放射線をあびることもありません。

～新任医師紹介～

栗林 忠弘（内科 副医長）

10月より内科で勤務しております。呼吸器内科を中心とした内科全般の外来・入院業務を担当しております。薬物治療だけでなく、禁煙や生活習慣の改善も含めて患者様に寄り添った診療を心がけています。児島での勤務は初めてでなれない環境ではありますが、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう日々精進して参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

松村 彰文（内科 副医長）

10月より倉敷市立市民病院 内科に入職しました松村と申します。専門は血液疾患ですが、当院では内科全般を幅広く担当させていただきます。勤務期間も限られていますが、丁寧な診察を心がけていきますので、よろしくお願い致します。

井上 佳苗（内科 副医長）

内科後期研修医の井上佳苗と申します。初期研修終了後、岡山市立市民病院、倉敷中央病院で研修し、12月からこちらで4ヶ月間内科の研修をさせていただきます。消化器内科を専攻しており、今まで研修したことも活かして精一杯患者さんのために働きます。また今までは比較的専門分化した急性期病院で研修してきたので、内科全般や亜急性期～慢性期の医療も積極的に学びたいと思います。至らない点も多くご迷惑をお掛けすると思いますが、何卒ご指導宜しくお願い致します。



栄養だより

「糖尿病バイキングを開催しました！」



12月3日糖尿病バイキングを開催しました。今年度のテーマは「年末年始を上手に過ごそう」でした。お正月三が日は「家事を休む・水仕事を避ける」などの目的から、料理が日持ちするように砂糖(はちみつ・水あめ・みりんも含む)・塩(醤油・味噌も含む)・酢を多めに使っているのが特徴です。和食ということで一見ヘルシーに思えますが、意外とエネルギーが高い料理も多いです。行事食を楽しみながら年末年始を上手に過ごすポイント、食べ方の工夫などをお話しました。

＜主菜に魚を選ばれた方の献立の一例＞



- ・赤飯 (150g)
- ・すまし汁
- ・ぶりの照り焼き
- ・筑前煮
- ・野菜サラダ、紅白なます
- ・フルーツ2種



エネルギー:515kcal、塩分:2.4g 野菜:210g

※筑前煮・紅白なますは、砂糖を使用せず、低エネルギー甘味料で仕上げました。

☆お正月といえばお餅

今回のバイキングでは初めての試みとして主食をお餅と赤飯から選んでいただきました。参加者の皆さんからはお餅と同じ栄養量のごはんの多さに驚いた声が聞かれました。お餅35gがごはん50gに相当します。お正月用の白丸餅1個はおおよそごはん茶碗に軽く1杯分と同じ栄養量です。さらにきなこ餅でおおよそ20kcal、あん餅でおおよそ50kcal エネルギーが増えます。おせち料理にはれんこんや里芋など炭水化物の多い食品が多かったり、砂糖が多く使われていたり、炭水化物の取り過ぎになりやすく、とりわけ糖尿病の人は注意が必要です。お餅を食べるときには主食量の調整をしましょう。



=



=

80kcal



当院糖尿病チーム会では隔月でさまざまな職種による糖尿病教室を開催しています。2月4日(火)には、令和元年度最後の教室が開催されます。どなたでも参加できる教室ですのでぜひご参加ください。来年度の予定は、今後院内掲示板等でご案内します。

社会福祉法人 浩志会

特別養護老人ホーム 碧山荘

施設長 豊田 薫

特別養護老人ホーム碧山荘は、平成19年12月に開設したユニット型施設です。入居者10名を1つのグループとし、全部で6ユニット（1ユニットはショートステイ）設けており、入居者一人ひとりの個性や生活リズムに合わせた個別ケアを行っています。

「人にやさしく・NOと言わない」を法人理念に掲げ、常に人にやさしく接し、受容・共感をし、まずは受け入れることを念頭に支援をさせて頂いています。

また、「自分で食べる」「自分で歩く」「自分で出す（排泄）」を施設目標として、生活のお手伝いをさせて頂いています。

最近では地域貢献事業の一環として、郷内高齢者支援センターの方々と協働で「転倒予防」や「認知症予防」に関する運動などを行う「地域で元気！郷トレ塾」を開催し、地域に密着した活動にも取り組んでいます。

また、当施設がある郷内地区は、まわりを山々に囲まれた緑豊かな自然いっぱいの環境にあります。国・県重要文化財がある日本第一熊野神社や、1300年余の歴史がある修験道総本山の五流尊龍院等多くの史跡と文化財があり、市内有数の歴史スポットとしても知られています。また、その周辺は新熊野・蟻峰山郷土自然保護地域に指定されており、自然と一体になって郷土色豊かな風土を形成し、地域の方に親しまれているとともに、入居者さんにも四季の様々な移ろいを感じて頂ける地域でもあります。

開設して12年目、まだまだ発展途上ではございますが、入居者さんをはじめ、地域の方や児島地区のみなさまのために、連携を図り、お役に立てる様に尽力してまいります。

このたびは、市民病院様には紹介の機会を頂き、深く感謝いたします。

〒710-0142 倉敷市林1140番地

TEL: 086-485-1165 (イイコゴ)

担当: 中上・片山・豊田



発行者: 倉敷市立市民病院 住所: 〒711-0921 倉敷市児島駅前2丁目39番地
TEL: 086-472-8111 (代表) FAX: 086-472-8134 (連携室直通)
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kojimahospital/>